

班研究課題および班員公募の結果について

一般社団法人 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会
研究企画委員会 委員長 富田 興一

2022年日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会班研究として採択された以下の2課題について、2022年6月17日～7月15日迄班員の公募を行いました。研究企画委員会で選考した結果、以下の通り班員を選出し理事会の承認を得ましたのでお知らせ申し上げます。

記

■課題1

研究課題：「Shared Decision Making(SDM)における乳房再建意思決定ガイド(DA)の効果：乳房再建患者の術式選択における意思決定の葛藤と不安、術後QOL調査」

班員：素輪 善弘 京都大学医学部附属病院 形成外科 (班長)
梶川 明義 聖マリアンナ医科大学 形成外科
小宮 貴子 東京医科大学病院 形成外科
雑賀 美帆 岡山大学病院 形成外科
田港 見布江 大阪大学医学部附属病院 形成外科
名倉 直美 聖路加国際病院 乳腺外科
アドバイザー：藤本 浩司 千葉大学医学部附属病院 乳腺甲状腺外科

以上7名 (敬称略)

■課題2

研究課題：「乳房再建術後放射線治療を有する乳癌患者のHR-QOL および予後予測因子の検討」

班員：関 大仁 埼玉メディカルセンター 乳腺外科 (班長)
笹田 伸介 広島大学病院 乳腺外科
辻 和香子 滋賀県立総合病院 乳腺外科
富田 祥一 がん・感染症センター都立駒込病院 形成再建外科
渡邊 法之 大阪国際がんセンター 乳腺内分泌外科

以上5名 (敬称略)

以上